

# 細田 吉善 長 考説明も文書

旧統一教会会合出席さらには4件

細田博之衆院議長は7日、「世界平和統一家庭連合（田嶋一教会）」との接点について、9月29日に公表した内容を含めて再調査したとする結果を、衆院議院運営委員会を通じて明らかにした。新たな教団関連団体の会員への出席が4件

増えて計8件になつた。ほかに命令への祝電などの送付3件を認めるなど、追加・訂正が複数あつた。今回も細田氏は記者会見をせず、文書を出しただけで、野党側は反応し、引き続き説明を求める。▼3面=疑念解消遠く、4面=議長について

7日前、議長公邸に衆院議連委の山口後一委員長（自民）、筆頭理事の盛山正仁氏（同）、笠浩史氏（立憲民主）の計3人が行き、非公開で約15分間、細田氏から説明を受け、山口氏が報道機関に説明した。改めて公表した文書で明

になつた。前回記されていなかつた会合の名稱や開催場所なども記された。また、會及がなかつた会合への祝電などの添付は「電報を発出した記録が見つかりた」として、新たに3件を認めた。

眞としでしきり説明責任を果たしている。かなり丁寧にしつかり調べて答えて、「」といふ認識を繰り返し、細田氏を擁護した。細田氏は「迷惑をかかましだ」と述べたものの、大だよりの田中、教団トップ韓鶴子出席が出席した余白

ある」(山立憲の笠氏は問題視)「元会員として組織的闘争や選挙戦で(教団投票を)差配していたのではなく、これに対する回答がない。疑惑は晴れていない」と批判。金原などと同様の説明すべきだと糸田氏は求めたと明かにした。(櫻井勝太)

らかになつたのは、前回の  
説明文書のすゝめられた。教  
団関連団体の会合に出席し  
たと認めたのは、14年2月  
～21年6月の4件が追加さ  
れた。前回は教団の友好団  
本〔国際教英連合〕は3・2

いた「日韓海底トンネル推進議員連盟」は、「日韓トunnel研究会」だったと訂正。関連団体からインタビュー取材を受けた時期も「19年6月」からの「19年12月」の誤りであることが判明

の、細田氏が「他の文部省の安堵論理にさつやく報告」などと述べた動画についても、説明はなかった。

